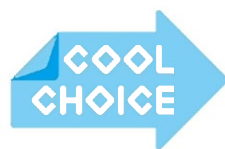


環境活動レポート



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

株式会社井セキ四国

平成 30 年 1 月 4 日

【1. 組織の概要】

- (1) 事業所名及び代表者氏名
株式会社イセキ四国
代表取締役 菊池 英朗
- (2) 本社所在地
愛媛県伊予市八倉 120 番地 1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
管理責任者 取締役 中原 和彦
担当者 業務管理室 大西 賢治
連絡先 TEL 089-983-5677/FAX 089-983-5681
mail kanril@iseki-shikoku.co.jp
- (4) 事業活動の内容
農業機械の販売および修理
- (5) 事業の規模
売上高：71 億円（平成 28 年 12 月末）
従業員数：227 名（平成 29 年 12 月 1 日）
営業拠点 愛媛県 11 拠点／香川県 9 拠点／高知県 7 拠点／徳島県 1 拠点

【2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日】

- (1) 対象範囲
 - ①本社（愛媛支社及び城南営業所を含む）
所在地；愛媛県伊予市八倉 120 番地 1
従業員数；34 名
延べ床面積；4,108.11 平方メートル
 - ②高知支社(南国営業所を含む)
所在地；高知県南国市岡豊町常通寺島 122 番地 1
従業員数；17 名
延べ床面積；2,776.10 平方メートル
 - ③香川支社及び高松営業所
所在地；香川県高松市香川町川内原 1527-13
従業員数；28 名
延べ床面積；3,157.0 平方メートル

④愛媛 G (西条、今治、城北、東温、久万、伊予、大洲、西予、宇和島)

所在地 ; 愛媛県西条市小松町新屋敷 1174-1 他

従業員数 ; 59 名

延べ床面積 ; 3,744.07 平方メートル

⑤高知 G (香南、高岡、佐川、四万十、幡多)

所在地 ; 高知県香南市野市町大谷 405-1 他

従業員数 ; 33 名

延べ床面積 ; 3,391.59 平方メートル

⑥香川 G (丸亀、綾歌、仲多度、坂出、三豊、高松東、さぬき)

所在地 ; 香川県善通寺市金蔵寺字下所 270-1 他

従業員数 ; 54 名

延べ床面積 ; 5,093.77 平方メートル

※徳島系統事業部については取り組みを自主的にコントロールできないため除外する。

(2) レポート対象期間

自 : 平成 28 年 10 月 1 日 至 : 平成 29 年 9 月 30 日

【3. 環境方針】

株式会社キセキ四国は、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、事業活動を通じ全員参加で自主的、積極的に環境負荷低減に向け継続的改善を目指します。

- 1、環境関連法規を遵守します。
- 2、資源・エネルギーの消費状況をチェックし、環境への負荷を認識し省資源・省エネルギーに努めます。
- 3、排水量（水使用量）の削減に努めます。
- 4、廃棄物の削減に努めます。
- 5、化学物質の使用を管理します。
- 6、グリーン購入を積極的に推進します。
- 7、環境に配慮した商品・サービスの普及に努めます。
- 8、環境保全に関する目標を設定し、取組結果を見直すことにより継続的な環境改善に取り組めます。
- 9、環境レポートを公表するなど、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い環境コミュニケーションに積極的に取り組めます。

平成 17 年 9 月 7 日策定

平成 23 年 11 月 1 日改定

株式会社キセキ四国

代表取締役 菊池 英朗

【4. 環境目標】

1. 『中期目標』

2017年度の数値を元にした基準値より中期目標を新たに策定し目標とする
 全社は各Gの合計とする

本社（愛媛支社及び城南営業所含む）、高知支社（南国営業所含む）、
 香川支社及び高松営業所、愛媛G、香川G、高知G

- ・ 二酸化炭素排出量；基準値に対し、原単位で毎年、0.5%以上削減する
- ・ 排水量（水使用量）；基準値に対し、原単位で毎年、0.5%以上削減する
- ・ 廃棄物リサイクル率；リサイクル率95%を目指す
- ・ 化学物質は使用量が微少なので、在庫を適正に維持管理する（定期的に確認）
- ・ グリーン購入；コピー用紙の再生紙購入率99%を継続する
- ・ 自ら販売する製品；環境に配慮した製品の販売、PR、情報提供をする

項目	指標（単位）	基準値	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
二酸化炭素 排出量	総量（kg-CO2）	1,394,244	—	—	
	売上高当（kg-CO2/百万円）	6,073	6,043	6,013	5,985
排水量 （水使用量）	総量（m3）	7,468	—	—	
	売上高当（kg-CO2/百万円）	39.14	38.94	38.75	38.55
廃棄物 リサイクル率	総量（t）	527.52	—	—	
	リサイクル率	95%	95%	95%	95%
化学物質	適正に管理する。				
グリーン購入	コピー用紙は再生用紙購入	99%	99%	99%	99%
自ら販売する製品	環境に配慮した製品の販売、PR、情報提供をする				

電力のCO₂換算係数として0.529を使用。（H29.12.21 環境省・経済産業省公表）

【5. 環境活動計画】

1. 数値目標を達成する為の主な取組

- ①二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）
 - ・ 空調機の保守点検の実施
 - ・ 事務所のLED化を推進する。
 - ・ 冷暖房温度管理の推進
 - ・ エコドライブの推進
- ②廃棄物最終処分量（減量、リサイクルに関する取組）
 - ・ 分別により有価物としての排出を推進
- ③コピー用紙使用量
 - ・ 電子メディアによるペーパーレスの推進
 - ・ ミスコピーの削減

- ・裏紙の活用

④水使用量（節水への取組）

- ・手早く洗車を行う（湯の使用）
- ・節水コマを使用
- ・手洗い等の節水を心がける

2. その他の取組

- ・環境に配慮した商品の販売に積極的に取組み

【6. 環境目標と実績】

項目	指標（単位）	基準値	2017 目標	2017 実績	達成／未達成
二酸化炭素 排出量	総量（Kg-CO2）	1,337,987	-	-	-
	売上高当（Kg-CO2／百万円）	5,253	5,176	5,625	×
排水量 （水使用量）	総量（m ³ ）	6,621	-	-	-
	売上高当（m ³ ／百万円）	77.52	76.36	39.14	○
廃棄物 リサイクル率	総量（t）	631.49	-	-	-
	リサイクル率	95%	95%	99.0	○
化学物質	適正に管理する				○
グリーン購入	書類用には再生紙購入	80%以上	80%以上	99%	○
自ら販売する製品	環境に配慮した製品の販売、PR、情報提供をする				○

電力のCO₂換算係数として0.378を使用。

【7. 数値目標を達成する為の取組と評価】

① 二酸化炭素排出量

売上高当は売上減少により達成できなかった。

下記、省エネに関する取組み

- ・全拠点へのエコアクション 21 浸透と環境活動への意識徹底を最優先する。
- ・空調機の保守点検の実施；フィルター清掃実施
- ・ガソリンの使用量削減；軽トラックを順次低燃費車両に更新
- ・ウォームビズの推進；ウォームビズを呼び掛け、従業員に協力を要請した

②水使用量（節水への取組）

・売上高当達成できたが、総排水量は増加した。

3S 活動の増進や洗車等サービス活動の励行もあるが、再度、節水意識を心掛ける必要がある。次回目標達成に繋げたい。

③廃棄物リサイクル率（減量、リサイクルに関する取組）

- ・目標達成ができた。環境活動への意識が高まっている。
- 継続したリサイクル率の達成を目指す。

④化学物質

- ・適切な維持管理を継続する。

⑤グリーン購入

- ・再生紙購入率 99% を継続する
- 展示会チラシの作製については再生紙利用率を抑えた再生紙を利用する

⑥自ら販売する製品

- ・環境に配慮した製品の販売、PR、情報提供をする。

3. その他の取組

グリーン購入の積極的推進；対象拠点の事務用品はグリーン商品に切り替えた。

【8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

1. 適用となる主な関連法規

関連法規等	状 況	備 考
浄化槽法	○	
廃棄物処理法	○	
消防法	○	
労働安全衛生法	○	
道路交通法	○	
フロン排出抑制法	○	

2. 違反・訴訟等

環境関連法規への違反はない。なお、関係当局よりの違反等の指摘、その他訴訟は過去3年間ない。

【9. 代表者による全体評価と見直しの結果】

CO2 総排出量は昨年より減少したが売上高当は売上減少により達成できなかった。

また、営業所毎では目標値と実際の数値に乖離が発生している。

2018 年度より中期計画を再策定し実際の数値に鑑みた目標に再設定した。より全社的な意識の統一を目指していきたい。

排水量について、売上高当は達成できた。これは拠点数変動したことが影響しているため、参考程度に留める。

総排水量は増加した。3S 励行やサービス強化により全体の水の使用量が増加傾向にはあるが、節水の意識が低くなりつつあると考えられる。再徹底していきたい。

今年度は本格的なエコアクション 21 全社取組の 5 年目となった。目標中期計画をそれぞれの G の特徴に合わせて再策定した。エコアクション 21 の取り組み精度を上げ、目標達成を継続したい。

設備面では各施設の LED への切り替え検討、軽トラックの低燃費車両への切替のさらなる徹底を継続推進する。

次年度も引き続き、グループ各社および他社がどのような改善取組をしているのかにも傾聴し、当社にもできることがあれば導入して行きたい。

【10. 次年度の目標】

各拠点個別の削減計画は割愛

全体としての次年度目標は次の通り。

- ・ 二酸化炭素排出量；基準値に対し、原単位で0.5%削減する
 - ・ 排水量（水使用量）；基準値に対し、原単位で0.5%削減する
 - ・ 廃棄物リサイクル率；リサイクル率95%を目指す
 - ・ 化学物質；適切に管理する
 - ・ グリーン購入；コピー用紙の再生紙購入率99%を継続する
- 自ら販売する製品；環境に配慮した製品の販売、PR、情報提供をする

項目	指標（単位）	2017年度 基準値	2018年度 目標
二酸化炭素 排出量	総量（kg-CO2）	1,394,244	—
	売上高当（kg-CO2/百万円）	6,073	6,043
排水量 （水使用量）	総量（m3）	7,468	—
	売上高当（kg-CO2/百万円）	39.14	38.94
廃棄物 リサイクル率	総量（t）	527.52	—
	リサイクル率（%）	95	95
化学物質	適正に管理する。		
グリーン購入	書類用には再生紙購入	99%	99%
自ら販売する製品	環境に配慮した製品の販売、PR、情報提供をする		

※各拠点個別の削減計画は割愛

以上